

## 【授業科目】ヘルスアセスメント Health Assessment

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
久留島実姫、草野 純子 中村いお美、林 香純	1年次後期	必修	1	15	演習	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要/本科目は、看護の対象となる人々の健康状態を身体的・心理的、社会的な視点から総合的に判断するために必要なヘルスアセスメントについて学ぶ。看護実践に必要な情報収集の手段のひとつであるフィジカルイグザミネーション技術を修得する。また、看護の対象を生活する統合体として捉えられるよう、紙上事例を用いて、身体面・心理面・社会面のアセスメントを行う。授業は、講義・演習形式で、個々の学修を深めるためにグループやペアでディスカッション、ワークを行う。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/①提出された課題にコメントをつけて返却する。②講義時に全体に対してコメントを口頭で述べる。③全体に対するコメントをまとめたものを提示する。①②③いずれかの方法で行う。 *実務経験を持つ教員が授業を進める。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護援助を実施するために必要な観察と判断ができる。</li> <li>2. 基本的なフィジカルイグザミネーション技術を実施できる。</li> <li>3. 基本的なフィジカルイグザミネーション技術により得られた情報をアセスメントできる。</li> <li>4. 対象者の健康状態を身体的、心理的、社会的な側面からアセスメントできる。</li> </ol>							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>【事前学習】第1～15回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 該当部分の教科書を読む。</li> <li>2. Teamsに提示された事前課題、クイズに取り組み、期限内に提出する。</li> <li>3. 必要時、該当部分の動画を視聴する。</li> </ol> <p>【事後課題】第1～15回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Teamsに提示された事後課題、振り返り取り組み、期限内に提出する。</li> <li>2. 各自で講義内容を整理する。</li> </ol> <p>【必要な学習時間】 事前課題・事後課題共30分程度</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回：ガイダンス/ヘルスアセスメントとは（講義） 第2回：「生きていること」のアセスメント（講義） 第3回：「生きていること」のアセスメント【体温・呼吸・脈拍測定】（演習） 第4回：「生きていること」のアセスメント【血圧測定：触診法】（演習） 第5回：「生きていること」のアセスメント【血圧測定：聴診法】（演習） 第6回：技術到達度の確認（血圧測定技術チェック） 第7回：「生きていること」のアセスメント【呼吸器系/循環器系】（講義） 第8回：「生きていること」のアセスメント【呼吸器系/循環器系】（演習） 第9回：「食べる」のアセスメント【消化器系】（講義） 第10回：「食べる」のアセスメント【消化器系】（演習） 第11回：「コミュニケーション」のアセスメント【脳・神経系（意識・脳神経）/感覚機能】（講義） 第12回：「コミュニケーション」のアセスメント【脳・神経系（意識・脳神経）/感覚機能】（演習） 第13回：「動く」のアセスメント【脳・神経系（運動機能・反射）/筋・骨格系】（講義） 第14回：「動く」のアセスメント【脳・神経系（運動機能・反射）/筋・骨格系】（演習） 第15回：ヘルスアセスメントと看護過程/まとめ（講義）</p>						<p>第1回 久留島 第2回 久留島 第3回～6回 久留島・草野・中村・林 第7回 林 第8回 林・久留島・草野・中村 第9回 久留島 第10回 久留島・草野・中村・林 第11回 久留島 第12回 久留島・草野・中村・林 第13回 中村 第14回 中村・久留島・草野・林 第15回 久留島</p>	
評価方法 評価基準	<p>定期試験：50% 課題・授業への参加：50%（事前課題15%、技術到達度の確認10%、事後課題25%）</p>							
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療情報科学研究所編『看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント』メディックメディア</li> <li>2. 池上敬一著『急変させない患者観察テクニック』羊土社</li> <li>3. 茂野香おる『基礎看護学[2]基礎看護技術I』医学書院</li> <li>4. 任 和子編『基礎・臨床看護技術』医学書院</li> </ol> <p>*2,3,4は1年前期「看護技術論I」で使用</p>			参考書等		適宜紹介		
学生への助言等	<p>授業は課題の実施を前提に行います。みなさんの効果的な学修活動のために必ず取り組んでください。また、本科目での資料は、原則TeamsにUpしますので、必ず各自でダウンロードまたはプリントアウトをして授業に臨んでください。みなさんが自律的に学修されることを期待しています。</p>							